

事業報告書

令和 4 年度

(2022 年度)

社会福祉法人 清 風 会

事業報告書 目次

1. 法人全般について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～2
2. 特別養護老人ホーム（従来型）
 - ◎部門別報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3～5
 - ◎ベッド利用実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
3. 短期入所事業（従来型）
 - ◎ベッド利用実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
4. 特別養護老人ホーム（ユニット型）
 - ◎部門別報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
 - ◎ベッド利用実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
 - ◎行事報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
5. 津奈木町デイサービスセンター
 - ◎部門別報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
 - ◎行事報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
 - ◎利用実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
6. 調理栄養部事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
7. 介護福祉サービスセンター（居宅介護支援事業）
 - ◎事業報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
 - ◎利用実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16～17
8. グループホーム
 - ◎部門別報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
 - ◎ベッド利用実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19～20
9. 各種施設運営管理報告、研修報告書・・・・ 21

令和4年度事業報告

社会福祉法人 清風会

あけぼの苑

【実施事業】

- * 特別養護老人ホーム（従来型）35床
- * 特別養護老人ホーム（ユニット型）30床
- * 短期入所生活介護事業（ショートステイ）11床
- * 通所介護事業（デイサービス）定員30人
- * 居宅介護支援事業 介護支援専門員3人
- * 認知症対応型共同生活介護事業（グループホーム）18床

1. 全般について

「地域福祉の拠点となって!」その人がその人らしく生きるために「喜び、安らぎ、生きがいをあたえる」の法人理念に基づき、事業の健全な運営を図るよう努めた。また、社会資源としての自覚を持ち、多様なサービスを提供し、住み慣れた生活を続けるための支援を行い、真の利用者ニーズの把握に努め、対応できる質の高いサービス提供に努めた。

しかし、地域に密着した地域貢献活動などの福祉活動等へ参加や「認知症カフェ」の開催が、新型コロナウイルスの感染対策等によりほとんど中止となり、予定していた活動は出来なかった。さらに、施設内の委員会及び研修、行事等も中止や縮小せざるを得ない状況となった。また、感染防止に努めていたが、ユニット型特養及びデイサービスで新型コロナウイルスのクラスターとなり、保健所及び嘱託医指示の元、対応に当たったが、幸い、重症化することなく感染者全員が完治した。従来型特養、グループホームでも感染者が発生したが、ユニット型特養の経験をもとに、対応しクラスターを防止することができた。職員についても熊本県の感染対策事業である検査キッド配布により、毎週検査を実施し、感染防止に努めた。

2. 職員の勤務条件の改善と資質の向上

- ① 職員の給与体系については、定期的な昇給を行い、また、介護職員処遇改善加算を算定し、介護職員に支給した。また、介護職員処遇改善支援補助金により令和4年2月支給の給与より手当を増設した。補助金は9月で終了したが、10月よりベースアップ支援加算を新規取得し、処遇改善手当を継続して支給した。

- ② 職員の質の向上を目的として、年間研修計画の予定が新型コロナウイルスの感染防止対策により、開催が難しく、担当者が作成した研修資料を閲覧する方式に切り替え、外部研修については、オンライン研修にて参加した。
- ③ 労働環境の検証として、各事業所ごとに24時間体制での勤務時間割りや、勤務パターン、業務内容や手順等について業務改善案を出し合い、働きやすい職場づくりに努めた。また、コロナ禍で受け入れ施設が少ない中に芦北高校福祉科の現場実習を受け入れたが、途中でコロナウイルス感染者が発生し実習が打ち切りとなり、十分な人員確保にはつながらなかった。

3. 固定資産の取得及び物品の購入

その他の固定資産

① 車両運搬具	日産ノート（中古車5人乗り）	1台
② 車両運搬具	トヨタハイエース（リフト付き）	1台
③ 器具及び備品	自動除細動器（AED、特養、ユニット、GH）	3台
④ 器具及び備品	エアコン（宿直室）	1台
⑤ 器具及び備品	パソコン（デスクトップ）	1台

4. 施設運営の合理化について

- ① 各職機関との連絡を充実させ、また管理者及び責任者等の指示、指導を徹底させることで施設運営の円滑化が図られ、日常の介護業務、グループワーク、利用者の健康管理、給食内容の向上等に努力した。
- ② 会計の決算については別紙のとおりであるが、全体の資産状況については、資産額 1,199,994,555 円、負債額 26,503,702 円、純財産額 1,173,490,853 円となった。物価の高騰により主に電気料などの経費が上がったが、熊本県の物価高騰支援金を申請し、経費に充てた。

5. 防災体制の充実強化について

- ① 消防機関はもとより、役場、地域住民等とも日常の連絡を密にし、施設の構造、入居者の実態を認識してもらうよう努めるとともに、避難、消火、避難後の援護等が円滑に行える協力体制を図った。また、熊本地震により被災した施設の例を教訓に設置した防災対策委員会にて、班ごとに業務を確認し、地震、風水害、土砂災害についての対策も検討した。
- ② 消防計画書をもとに、年2回総合防災訓練を実施し、さらに夜間の非常時通報訓練を行った。
- ③ 防火設備の管理については、管理業者と点検契約を締結し、年2回の定期点検を実施し、常時防火設備の保全と避難誘導経路の確保に努めた。
- ④ BCP（事業継続計画）について、各事業で見直しを行った。

1. 【生活相談員・介護支援専門員業務】

- ① 今年度の退所者9名の内訳として、水俣市からの措置入所者がグループホームへ入所された外は、医療機関入院後死亡4名、施設での死亡者4名であった。その1名については、64日間の長期に亘る看取り介護を行った。終末期においては、コロナ禍ではあるが最後は家族の見守る中で生涯を終えるよう努めた。新規入所者については、要介護3が3名、要介護4が3名、の計6名を新規入所者として受け入れた。
- ② 令和4年度の行事として四季折々の行事を計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止し、苑外の散歩やドライブでの故郷訪問、町内巡りなどの余暇活動を行い、入居者のストレス解消に努めた。
- ③ 面会については、近隣の感染状況により玄関ホールでの面会や、窓越しによる面会を実施した。
- ④ 年間の苑内研修計画については、各委員会からの報告、事例検討等を行い、資料による閲覧での研修会とした。また、外部研修については、オンライン研修に参加した。
- ⑤ 施設サービス計画書作成については、定期的にあセスメントを行い、日々の入居者の状態の変化に合わせた計画を策定し、多職種連携のもと、目標達成に向けた支援を実施した。しかし、新型コロナウイルスの影響で担当者会議に家族が出席できなかったため、事前に家族へ要望を聞いたうえで、サービス提供関係職員参加のもと、生活に対する課題や希望を尊重した計画作成に取り組んだ。
- ⑥ 日頃の関わりの中で感じた入居者の思い、面会や電話連絡などで感じた家族の願いや思いを実現・実行できるような計画の立案を心掛けた。しかし、2名の方についてご家族の希望であった「自宅へ帰る」と言う計画はコロナ禍により実行できなかったため、次年度で実行したい。

2. 【介護業務】

介護目標に「利用者と家族が安心して楽しく生活していただけるよう、出来る限り個別化したケアを行う」としていたことに対し、職員間で利用者の日々の状態を把握し、変化があれば話し合いを行うことで、利用者のADLや身体状況に合ったケアを個別に行うことができた。ただし、ケア会議の開催が新型コロナの影響により、7回の開催となったが、昨年よりは多く開催できたため、意見を発言する機会は増えた。しかし、参加職員全員が発言するまでに至っておらず、今後の課題である。開催の時間帯を日中に変えたことで、参加人員及び職種も増えた。

計画に対しては、利用者の日々の関わりの中で感じ取った利用者の心身の状況を職員が汲み取ることで、利用者及び家族の意向を尊重した介護計画の実践・ケアが出来ていた。職員のスキルアップのための勉強会も新型コロナウイルスの影響により、計画通りには実施できなかった。

〔基本サービス〕

食事：利用者の好みや季節感を取り入れ、行事食を含めた食事の提供を行うことで、利用者の笑顔が観られ、楽しみのある食事の提供に努めた。

しかし、食事の配膳ミスにより誤薬が発生したため、今後も誤薬防止マニュアルの周知徹底を図る。

入浴：個浴、リフト浴、機械浴を利用者個人のADLに合わせて入浴することで、利用者がゆったりと入浴を楽しめるようになり、利用者と職員共に負担なく入浴の実施が行えた。また、入浴時の観察により皮膚疾患の早期発見・治療に至り、悪化を防ぐことができた。

排泄：気兼ねや羞恥心がないよう安全性とプライバシーに配慮して排泄介助を行うよう努めた。トイレやポータブルトイレ介助を行うことで、下肢筋力を低下させない目的もあり、ADLの維持・向上も図れた。また、看護職員との連携により排便状況を把握し、排便コントロールもできていた。

整容：毎日の洗顔及び口腔ケアは、適切な用具を使用し、利用者の状態に応じて行った。月1回の散髪ボランティアにより、全利用者の散髪も実施できた。

更衣についても個人の生活スタイルに合わせ、普段着からパジャマへの着替えも行った。

処遇改善：利用者の願いや思いを日頃の会話や生活歴、趣味などから汲み取り、叶えられるよう取り組んだ結果、数名の利用者が歌や毬づくり、書道などの趣味は実施できたが全員ではなかった。また、利用者の希望で運動器具を使った上肢の運動や歩行訓練、苑庭の散歩なども実施した。認知症利用者の行動・心理症状の対応については、動きを制限せず、職員が利用者に合わせてできる限り付き添いを行った。家族等との面会については、地域の感染状況に合わせ、柔軟に対応した。面会が制限されている時は、お便りと写真を送付し、また電話にて近況を説明するなどの対応を行った。

3. 【医療業務】

- ① 利用者の状況に応じて健康チェック、血糖値測定を実施し、安定している方のバイタル測定等も定期的に実施し、嘱託医及び各部署連携を図り健康管理を行った。
- ② 今年度も、新型コロナウイルスの感染拡大防止により、手指の消毒及びマスク着用の徹底、居室・施設内の換気と消毒、週1回の職員の抗原検査を実施した。しかし、職員7名、入居者1名がコロナウイルスに感染したが、同時期ではなくクラスターは防ぐことができた。また、感染対策を徹底したことで、インフルエンザやノロウイルスの感染も防止できた。
- ③ PPE（個人用防護具）の脱着手順など感染防止に関する研修を書面にて行った。
- ④ 入居者の状態観察を徹底し、異常の早期発見に努め、専門医の診察を積極的に行った。

- ⑤ 褥瘡の発症はなかったが、仙骨部の剥離程度の傷が見られ、介護職員との連携によるケアの充実と栄養士との連携による食事内容の見直しにより、1週間程度で改善した。
- ⑥ 新型コロナウイルスワクチン及びインフルエンザワクチンの予防接種を職員及び入居者に実施した。入居者で対象者に対し、肺炎球菌ワクチンの接種も実施した。
- ⑦ 看取りについては、9名の退所のうち、4名の方について施設でターミナルを迎え、家族の希望と本人のQOLを尊重し、多職種連携し苦痛の緩和に努めたことにより、穏やかに最期を看取れた。3名は入院先の医療機関にて死亡退所された。
- ⑧ 家族の希望により、利用者2名について鼻腔チューブからの経管栄養であったが、RSST（反復唾液嚥下テスト）及び水飲みテストを行い、多職種と連携し、嚥下状態を把握し、口からの食事摂取に取り組んだ結果、1名については普通食の摂取まで回復し、もう1名はゼリー食の摂取であるが、現在も調整しながら食事形態の回復に取り組んでいる。

令和4年度 特養(従来型)利用実績

	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計		稼働率
	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	
4月	1	30	5	150	5	150	13	369	12	330	36	1029	98.00%
5月	1	31	5	155	4	124	14	434	12	347	36	1091	100.55%
6月	1	30	4	120	5	150	15	389	12	360	37	1049	99.90%
7月	1	31	4	124	6	176	13	403	12	372	36	1106	101.94%
8月	1	31	4	124	5	133	15	465	11	319	36	1072	98.80%
9月	0	0	5	150	4	117	16	480	10	300	35	1047	99.71%
10月	0	0	5	144	5	149	16	492	10	285	36	1070	98.62%
11月	0	0	3	73	6	180	15	431	12	318	36	1002	95.43%
12月	0	0	2	62	7	202	15	465	11	341	35	1070	98.62%
1月	0	0	2	62	7	217	14	434	11	341	34	1054	97.14%
2月	0	0	1	28	9	252	14	392	11	308	35	980	100.00%
3月	0	0	1	31	9	264	14	432	11	322	35	1049	96.66%
合計		153		1223		2114		5186		3943		12619	98.78%

稼働率 98.78%

令和4年度ショートステイ年間利用実績

	要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計		稼働率
	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	実人員	延べ人数	
4月	0	0	1	2	5	18	12	83	4	39	4	41	3	55	29	238	79.33%
5月	0	0	2	3	3	8	8	68	5	32	5	47	3	52	26	210	67.74%
6月	0	0	2	4	4	20	12	71	6	52	4	32	4	55	32	234	78.00%
7月	0	0	0	0	3	14	12	85	6	48	3	20	4	50	28	217	70.00%
8月	0	0	0	0	3	16	11	73	5	32	0	0	3	42	22	163	52.58%
9月	0	0	0	0	5	8	14	100	8	58	3	19	3	68	33	253	84.33%
10月	0	0	0	0	5	24	11	98	5	30	1	5	3	57	25	214	69.03%
11月	1	2	0	0	4	17	14	114	3	23	3	8	3	46	28	210	70.00%
12月	0	0	0	0	5	22	10	89	5	50	2	7	4	46	26	214	69.03%
1月	0	0	1	6	7	49	6	63	6	62	1	26	4	49	25	255	74.78%
2月	0	0	0	0	4	25	12	84	4	34	2	53	4	49	26	245	79.55%
3月	1	1	0	0	7	32	10	104	3	43	4	62	4	56	29	298	87.39%
合計		3		15		253		1032		503		320		625		2751	73.48%

稼働率:73.5%

令和4年度事業報告

ユニット よらんかな

(生活相談員部門)

令和4年度は、新規入居2名、退所4名、入院による空床213日、入・退所調整による空床164日と、空床が多くあった。また、新型コロナウイルスによるクラスターが発生し、入居者5名、職員9名、計14名が罹患し1名入院もあったが、幸い重症化もなく軽快された。今一度、感染症対策について職員の意識を高める必要があると痛感した。次年度は、行動制限も緩和され、徐々に元の生活に戻ることができ、家族と過ごす時間や色々な行事の再開により「今」「瞬間」を楽しむことができるよう支援したい。

(介護支援専門員部門)

ケアプラン作成については、ご本人が想いや意向を直接伝えられる方は少なく、日常生活の各スタッフとのコミュニケーションからくみ取ることが多かった。また、本年度も感染予防のためご家族の担当者会議への参加を見送り、電話や手紙でのやり取りを行った。面会制限もあり直接ご家族と話をする機会も少なく、生活の意向について具体的な聞き取りが難しかった。モニタリングは、毎月のミーティングで実施し、目標はある程度達成できたが、維持するために継続が必要である。入院でADLの低下がみられたが、多職種と連携し入院前の状態に近づけるよう回復に努めた。体操等の活動がやや減り、関節の拘縮がみられるため、計画に具体的に取り入れ予防していく必要があった。看取りは1件でご本人の「入院したくない」という意向をくみ取ることができた。

(看護部門)

入居者も高齢化が進み、令和4年度は入院が延べ10名と多くみられた。また、新型コロナウイルス感染によるクラスターが発生し、入居者5名、職員9名、計14名が感染した。内1名の入居者が入院治療を行い重症化することなく軽快できた。再度、職員全員が感染対策について意識を高め、居室や施設内の換気及び手指の消毒、マスク着用の徹底、週1回の抗原検査を行い、感染防止に努めた。インフルエンザやノロウイルス感染も抑えることができたと思う。看取りについては1名行ったが、本人及びご家族の意向に寄り添い、相談員、介護看護共に協力し、良い最期を迎えることができた。

(介護部門)

令和4年度も新型コロナウイルス感染予防によるご家族不在の担当者会議や面会規制の為、電話での介護への意向確認となり、短い時間での聞き取りで十分なものではなかった。その為、入居者の生活歴やこれまでの苑での生活を踏まえながらケアを行った。ターミナルケアや体調不良、転倒・骨折によるADL低下の方もおられるなかで、各町のミーティングや各職種と情報共有しながら、笑顔で苑の生活を送って頂けるよう努めた。7月には新型コロナによるクラスターが発生し、入居者・ご家族の方へ大変心配をかけてしまった。行事面では、「花火大会」や「BBQ」など苑内での行事を楽しんでもらったが、次年度は苑外活動を増やし、もっと楽しんで頂けるよう努めたい。また、入居者の重度化もみられているが、その方に応じた食事、入浴・排泄がしっかりできるよう随時、全職員で取り組んでいきたい。

令和 4年度 よらんかな利用人員 (増減)(実人員)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	2	7	14	7	30
5月	0	2	7	14	7	30
6月	0	2	8	13	7	30
7月	0	2	8(-1)	13(-1)	7	30
8月	0	2	7	12	7	28
9月	0	2	8(+1)	10	9	29
10月	0	2	7	9	12(+1)	30
11月	0	2	7	9	12	30
12月	0	2	6	9	13	30
1月	0	2	5	10	13	30
2月	0	2	5	10	13	30
3月	0	2	5	10(-1)	13(-1)	30

(延べ人員)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	
4月	0	60	208	409	197	874	97.1%
5月	0	62	195	425	217	899	96.6%
6月	0	60	219	386	210	875	97.2%
7月	0	62	207	341	217	827	88.9%
8月	0	62	186	372	217	837	90.0%
9月	0	60	221	300	270	851	94.5%
10月	0	62	202	252	359	875	94.0%
11月	0	60	210	267	360	897	99.6%
12月	0	62	186	279	403	930	100.0%
1月	0	62	155	310	403	930	100.0%
2月	0	56	140	280	364	840	100.0%
3月	0	62	155	310	380	907	97.5%
合計	0	730	2284	3931	3597	10542	96.2%

新規入居 2名、退所 4名、利用人員 32名

延べ日数 10542日 稼働率 96.2%

1. 入院による空床 213日 (入院延べ 10名)
2. 入・退所による調整空床 164日

令和 4年度ユニット行事報告

	年月日	行事	場所
1	4月20日	バーベキュー	中庭
2	5月5.18.20.22日	故郷訪問	芦北・津奈木・水俣
3	6月22日	運動会	地域交流館
4	9月14日	敬老会	南町リビング
5	9月26日	おはぎ作り	西町リビング
6	10月19日	バーベキュー	東・西町中庭
7	10月25日	干し柿作り	西町
8	10月26日	花火大会	南町駐車場
9	11月14日	たまねぎ作り	東町畑
10	11月16日	焼き芋会	東町玄関
11	11月30日	紅葉見学	舞鶴公園
12	12月21日	忘年会&Xmas・誕生会	各ユニットリビング
13	12月28日	餅つき	従来型特養玄関前
14	1月7日	どんどや	ユニット南町 苑庭
15	2月3日	節分	南町リビング
16	2月15日	梅見学・焼き芋会	東・西町玄関前
17	3月3日	ひな祭り	南町リビング
18	3月8日	おはぎ作り	西町リビング

その他

- ・毎月第4水日曜日午後より誕生会
- ・月1～2回散髪ボランティア「ガーデン」様

実習受け入れ

- ・芦北高校（3年生基礎介護実習）1名
- ※新型コロナウイルスにより一部

※7月にコロナクラスター発生により行事中止（7月8月）

令和4年度 通所サービス実績報告

津奈木町デイサービスセンター あげぼの苑

1、年間稼働日数 296日稼働（感染症10日間、大雨予報1日間営業自粛）

2、一日平均稼働数 23.24人 / 日

3、利用実数（年間延べ人員）

	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
令和3年度	342	820	2,357	2,445	730	67	234	6,980
令和4年度	560	276	2,369	2,780	510	224	162	6,879
前年比	1.64	0.34	1.01	0.97	0.7	3.34	0.69	0.99

4、介護度別利用割合（％）

	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
令和3年度	4.9	11.7	33.8	35	10.4	0.9	3.3
令和4年度	8.1	4	34.4	40.4	7.4	3.3	2.4

5、計画

介護保険部門

- ・感染症の状況により生きがい活動開始することで、活気観られて意欲の向上に繋がられている。
- ・自粛が続く中でのご利用の中で出来るだけ日常生活動作訓練を行うことで在宅生活の継続に繋がられた。
- ・超高齢化であるが、利用継続により認知症の進行も緩やかであった。
- ・訪問、訪問介護との連携にて体調管理も早期発見、対応できていた。
- ・感染対策強化対応したことで通常の体調不良も少なく在宅生活の継続に繋がられている。

総合事業部門

- ・高齢化、活動の自粛等があったものの、心身機能面の維持、向上が行っていた。
- ・他者とのコミュニケーション、活動の場を出来るだけ提供することができた。
- ・感染対策を行いつつ、在宅生活での不安、必要な支援を包括と連携し対応できていた。

6、まとめ

- ・感染症の影響で事業所の休業や、交流館でのサービス提供を御利用者（御家族）様より協力頂け良かった。
- ・感染対策強化していたが、発生、拡大したものの、早期対応し最小限にとどめることが出来ていた。
- ・他事業者と、サービスの停止においても連携し、対応できていたと思われる。
- ・御家族との日頃の信頼関係構築により、様々なトラブルにおいても、御協力頂けた。
- ・今後も早期発見、早期対応を心掛けてチームケアを行っていきたいと思う。

令和4年度 行事報告書

津奈木町デザイナーサービスセンター あげぼの苑

4月	誕生会 (18日～23日) 美術館作品参加(津奈木の昔話)	10月	誕生会 (17日～22日) 美術館作品参加 (朗読録音)	定例行事
5月	誕生会 (16日～21日)	11月	誕生会 (14日～19日)	各種室内ゲーム カレンダー作成
6月	運動器機能測定 (6日～11日) 誕生会 (13日～18日) 防災総合訓練「火災」(23日)	12月	クリスマス&忘年会 (24日～30日) デザートバイキング (24日～28日)	
7月	誕生会 (18日～23日)	1月	新年会 (4日～10日) 誕生会 (23日～28日)	
8月	誕生会 (15日～20日)	2月	誕生会 (13日～18日)	
9月	山門ぶどう園の販売 (16日、30日) 運動器機能測定 (12日～17日) 誕生会 (19日～24日)	3月	運動器機能測定 (6日～11日) 誕生会 (13日～18日) 花見「重盤岩」(27日～4/1)	

令和4年度通所介護事業利用実績（総合事業含む）

【利用実人員】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	7	7	8	8	9	9	10	12	12	11	12	11	116
要支援2	7	6	5	5	4	4	3	2	1	1	2	2	42
合計	14	13	13	13	13	13	13	14	13	12	14	13	158
要介護1	21	22	25	24	22	23	23	21	21	21	22	22	267
要介護2	26	26	25	25	29	32	27	25	24	21	22	20	302
要介護3	7	7	7	5	4	4	2	3	4	4	2	5	54
要介護4	2	2	2	2	2	2	2	4	2	1	1	3	25
要介護5	3	4	3	3	3	2	2	2	2	1	1	1	27
合計	59	61	62	59	60	63	56	55	53	48	48	51	675

【利用延べ人員】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	35	32	43	32	43	47	52	61	57	40	57	61	560
要支援2	42	40	37	31	28	26	25	14	6	3	8	16	276
合計	77	72	80	63	71	73	77	75	63	43	65	77	836
要介護1	201	213	232	184	216	193	224	203	153	141	180	229	2,369
要介護2	270	269	238	204	266	303	285	257	207	136	175	170	2,780
要介護3	72	71	50	40	46	22	20	41	40	28	24	56	510
要介護4	20	18	17	14	25	17	23	31	18	6	7	28	224
要介護5	22	24	20	18	18	13	12	11	13	3	3	5	162
合計	585	595	557	460	571	548	564	544	431	314	389	488	6046
入浴介助者 (介護保険者)	496	508	481	371	502	486	491	474	383	253	326	395	5,166
延べ利用人数	662	667	637	523	642	621	641	619	494	357	451	565	6,879
営業日数	26	26	26	22	27	24	26	26	23	19	24	27	296

令和4年度 事業報告書

あけぼの苑
調理・栄養

〈目標〉

健康維持・増進、疾病予防のほかに、過剰摂取による健康障害を予防し、活力ある生活を送るため利用者に食の楽しみを提供できるよう努めた。また、多職種と連携を取り、個々に合った食事の提供を行い、個別対応として更に充実した食事サービスに努めることができた。

〈計画・新規事業報告〉

1.非常災害時の対応

自然災害等により通常の食事提供が困難となった場合に備え、マニュアルの見直しを行い食事の提供がスムーズに行えるよう努めた。また、非常用食品等の管理を行い不足分の補充を行った。

2.嚥下対応食への取り組み

利用者が重度化する傾向がある中で誤嚥性肺炎を予防し、最期まで口から食べる楽しみを感じてもらえるよう、嚥下対応食への取り組みを行った。

また、経管栄養から経口摂取への移行を行い、口から食べたいという入所者の想いを叶えることができた。

3.イベント食の定着化

コロナウイルス感染症の流行により通常のイベントを行うことは出来なかったが、その中で出来る範囲でのイベントは行った。駅弁等の提供を行い、利用者の方に喜んで頂くことが出来た。

〈継続事業報告〉

1.栄養ケアの実施

2.衛生、安全管理の徹底

3.行事食の実施

1. 2. 3 については継続して行うことができた。

令和 4 年度

あけぼの苑介護福祉サービスセンター 事業報告

・基本方針に基づき、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが多様な事業者又は施設から、総合的かつ効率的に提供できるよう、ケアプラン（介護サービス計画）を作成することができた。

・利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、常に利用者や家族、各種サービスが提供されるように管理、指導すると共に、地域ケアにおけるコーディネーターとしての役割を果たすことができた。

・本人の心身の状況に合わせた福祉用具の選定や屋内の必要箇所に住宅改修を行うことで、安全で安心できる自宅での生活が送れるよう、また、福祉用具を活用することで自立した日常生活が送れるよう支援することができた。

・県内及び圏域内のさまざまな会議や研修等はコロナ感染拡大予防のためリモート会議が主となり、安心して参加することができた。

・介護給付に関しては、医療機関への長期入院や施設入所、死亡等の理由にて契約終了となる利用者がいたが、毎月 1 人から 5 人の新規利用者受け入れを行った。

介護給付の全体数としては、延べ人数が 49 人下回った。

身体機能面の低下による介護度変更等により要介護 3 の延べ人数が 40 人増となり、要介護 1・2 の延べ人数が 80 人減、要介護 3・4・5 の延べ人数が 31 人増であった。

・予防給付に関しては、要介護から要支援へ変更になった利用者や、担当している要介護状態の配偶者が要支援状態になることで夫婦ともに担当するケースが増えてきた。

全体数としては、延べ人数が 20 人上回った。

要支援 1 の延べ人数が 26 人増、要支援 2 の延べ人数が 6 人減であった。

令和4年度 居宅介護支援事業利用実績

◎月別給付管理数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
要介護1	36	35	37	37	36	37	36	36	38	39	42	41	450
初回加算	0	1	3	1	2	2	1	2	0	1	1	1	15
退院・退所加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院時情報連携加算(Ⅰ)	1	0	0	0	1	2	0	2	0	0	0	1	7
入院時情報連携加算(Ⅱ)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
通院時連携加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急時カンファレンス加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	33	32	29	29	32	32	31	31	25	23	25	24	346
初回加算	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	2	0	6
退院・退所加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院時情報連携加算(Ⅰ)	0	3	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	6
入院時情報連携加算(Ⅱ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通院時連携加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急時カンファレンス加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	7	7	9	8	9	9	9	9	10	10	5	8	100
初回加算	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
退院・退所加算	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
入院時情報連携加算(Ⅰ)	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	4
入院時情報連携加算(Ⅱ)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
通院時連携加算	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
緊急時カンファレンス加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護4	5	6	5	4	4	4	3	4	5	5	4	5	54
初回加算	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
退院・退所加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院時情報連携加算(Ⅰ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
入院時情報連携加算(Ⅱ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通院時連携加算	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
緊急時カンファレンス加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	1	2	1	1	1	2	1	2	3	3	2	2	21
初回加算	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
退院・退所加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院時情報連携加算(Ⅰ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院時情報連携加算(Ⅱ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通院時連携加算	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
緊急時カンファレンス加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護者合計(人)	82	82	81	79	82	84	80	82	81	80	78	80	971
初回加算合計(人)	1	3	3	2	5	4	1	2	1	1	3	1	27
退院・退所加算合計(人)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
入院時情報連携加算(Ⅰ)合計(人)	2	3	0	2	4	2	0	2	1	1	0	1	18
入院時情報連携加算(Ⅱ)合計(人)	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
通院時連携加算合計(人)	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3
緊急時カンファレンス加算合計(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

◎予防給付者数

要支援1	3	3	4	4	5	5	5	4	4	4	5	4	50
初回加算	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	4
委託連携加算	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	4
要支援2	7	7	8	9	8	10	11	11	10	10	11	12	114
初回加算	1	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	5
委託連携加算	1	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	5
要支援者数合計(人)	10	10	12	13	13	15	16	15	14	14	16	16	164
初回加算合計(人)	1	0	2	1	1	2	1	0	0	0	1	0	9
委託連携加算合計(人)	1	0	2	1	1	2	1	0	0	0	1	0	9

令和4年度事業報告書

グループホーム あげぼの

【管理者部門】

- * 運営推進会議を年6回（4/27 6/29 8/29 10/27 12/15 2/22）コロナ禍の為文書配布行なった。
- * 防災訓練実施（6/18 避難訓練 11/21 夜間想定通報訓練）他台風接近による大雨水害に備えての訓練を兼ね、苑への避難実施行なった。
- * ご家族への近況報告兼お便りを月1回発行できた。
- * 令和4年度の退所者は2名で、医療処置を要する入院での退所が1名で、入院後の他界による退所が1名であった。新規入所者は介護2が2名であった。

【計画作成担当部門・介護部門】

- * コロナ禍により担当者会議を電話にて行ない、サービス内容を説明し同意を行なった。月毎の評価の遅れや介護計画書作成の遅れもあった。
- * 自己評価・外部評価を実施し、ケアの振り返りや課題検討行なった。
- * コロナ状況みながら外出行事も行ない、入居者の気分転換を図った。

【行事報告】

- * 4月 花見
- * 5月 端午の節句（行事食）・昼食バイキング
- * 6月 あじさい見学
- * 7月 七夕飾り作り・そうめん流し
- * 8月 フルーツバイキング
- * 9月 敬老会・月見団子作り
- * 10月 コスモス見学
- * 11月 外部評価
- * 12月 忘年会・クリスマス会・餅つき
- * 1月 新年会
- * 2月 節分（豆まき）
- * 3月 ひな祭り（行事食）・花見

* 誕生会（入居者の誕生月）

* 火災通報避難訓練（6月・11月）

* 自然災害 〃 （9月）

令和4年度 グループホームあけぼの 利用実績

内 訳	利用定員 18 人					年間利用実人員 20 人				
	要介護度別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援2	合計(人)		
利用実人員	8	4	4		6	1	1			
年間延べ人員	2769	859	544		1704	306	244	6426		
稼働率	年間延人員(6426) ÷ 6570 = 97.8 %									

家賃	年間延べ	215.3	ヶ月
光熱費	年間延べ	213.0	ヶ月

食事提供	朝食	昼食	夕食	合計(食数)
	6412	6422	6420	19254

令和4年度 グループホームあけぼの年間利用実績

	要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	
	実人員	延べ人数	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員
4月	1	30	7	210	1	30	4	117	4	112	1	30	18	529
5月	1	31	7	217	1	31	3	93	5	137	1	31	18	540
6月	1	30	7	210	3	68	2	60	4	120	1	30	18	518
7月	1	31	7	217	3	93	2	62	4	124	1	31	18	558
8月	1	31	8	248	2	62	1	31	5	155	1	31	18	558
9月	1	30	8	231	2	60	1	30	5	150	1	30	18	531
10月	1	31	8	228	2	62	1	31	5	135	1	31	18	518
11月	1	30	8	240	2	60	1	30	5	143	1	30	18	533
12月	0	0	8	248	3	93	1	31	5	155	1	31	18	558
1月	0	0	8	248	3	92	0	0	6	186	1	31	18	557
2月	0	0	8	224	3	84	1	28	5	140	0	0	17	476
3月	0	0	8	248	4	124	1	31	5	147	0	0	18	550
合計		244		2769		859		544		1704		306		6426

稼働率 97.8 %

令和4年度 行事・職員研修報告書

	特養行事	ユニット	グループホーム	施設管理	施設外研修	施設内研修	月例行事・その他
4月	家族会総会 (各部) 花見 故郷訪問 (戸北方園・内野)	花見 バーベキュー	花見	自家発電装置点検 (毎月) 電気設備点検 (毎月) 火災警報装置・バッテリー交換			1 感染症・食中毒対策研修 (全年2回) 2 身体拘束に関する研修 (全年3回) 3 事故対策に関する研修 (全年2回) 4 医療に関する教育・研修
5月	こいのぼり見学 バラ園見学 故郷訪問 (熊崎)	つつじ見学 故郷訪問	端午の節句 昼食バイキング	屋上排水口清掃 苑周田草刈 浄化槽清掃 冷暖房フィルター清掃		1.感染症・食中毒研修(書面) 3.事故状況報告(書面)	5 認知症研修会 6 プライバシーに関する研修会 7 ターミナルケアに関する研修会 8 倫理及び法令遵守に関する研修
6月	運動会 故郷訪問 (竹中)	運動会 あじさい見学	あじさい見学	避難訓練訓練 (災害・火災) 苑周田草刈 冷房切り替え		9.非常災害時の研修(書面) (土砂災害、風水害、地震) 災害避難訓練(土砂災害) 避難避難訓練(火災)	9 非常災害時における研修 10 従業員の施設サービス研修 11 マニュアルの見直し検討会議 各種委員会
7月	ソーメン流し 七夕 故郷訪問 (平塚・辻)	七夕・屋台	七夕飾り付け ソーめん流し	消防設備点検 水質検査 (水道水) 貯水槽清掃		衛生委員会(委員会) 職員の健康管理について(書面) 5.認知症研修(DVD視聴) 2.身体拘束研修(書面)	①労働衛生委員会 (荷数月第4月曜日) ②医療的ケア対策委員会 (4.7.10.1月第3日) ③感染対策委員会 (4.9.11.3月第3水曜日) ④身外科米道正化委員会 (4.7.10.1月、3時)
8月	ぶどう狩り	ソーメン流し	フルーツバイキング	窓ガラス拭き 苑周田草刈 屋上排水口清掃		11.マニュアルの見直し検討会議 (各部署において) 腰痛予防	⑤安全管理対策委員会 (4.8.1.3月)第3水曜日 ⑥防災対策委員会 (5.11月) ⑦給食委員会 (5.8.11.2月) ⑧広報委員会 (5.9.1月・第1火曜日)
9月	敬老会 コスモス見学 故郷訪問 (水俣)	敬老会 おはぎ作り	敬老会 月見団子作り	苑周田草刈		4.医療に関する研修(動画視聴) 7.ターミナルケア研修(書面)	⑨環境美化委員会 (4.8.11.3月第2水曜日) ⑩地域貢献活動委員会(4.8.1月) ⑪研修委員会 (4.10月) ⑫入所検討委員会 (随時)
10月	故郷訪問 (藤竹・大田) バラ園見学 津奈木保育園訪問	バーベキュー 故郷訪問 花火大会	コスモス見学	冷暖房フィルター清掃 暖房切り替え 老人会との合同除草作業	安全運転管理者講習会	1.食中毒・感染症研修(ログノルズ) インフルエンザについて(書面) 取組み・事例発表会(書面) (特養・デイ・CH・ユニット)	排洩委員会 毎月(特養) 入浴委員会 毎月(特養) 食事委員会 毎月(特養) 控退委員会 (8.3月 特養)
11月	ふれあい祭り見学 やさいもみ・紅葉見学 故郷訪問 (原崎・小作 原4号) 秋祭り (苑内)	干し柿作り 焼き芋会 紅葉見学 玉ねぎ作り	ふれあい祭り見学 昼食バイキング 外部評価	屋上排水口清掃 防災訓練:夜間想定 (避難・通報)	リ-ダ-研修会(もやい館)	5.認知症研修(書面) 2.身体拘束研修(事例:書面)	会議 ・職員会議 (毎月第4金曜日) ・ケア会議、モニタリング (特: 毎月25日) ・ユニット会議、リーダー会議 (毎月28日) ・各ユニットミーティング ・誕生会 毎月第4日曜日 ・休重測定 毎月第2水曜日 ・インフルエンザ予防接種
12月	忘年会&Xmas 門松作り 餅つき	Xmas&誕生会 門松作り 餅つき	忘年会 クリスマス会 餅つき おせち料理作り	大掃除・窓ガラス拭き	福取り土曜祝会		
1月	初詣 新年会 どんどや	新年会 どんどや	新年会・初詣		熊本県福祉施設研究大会 (動画視聴)	6.プライバシー研修(書面) 8.倫理及び法令遵守研修(書面) 3.事故事例検討(書面) 熊本県福祉施設研究大会報告	災害避難訓練:6月 火災避難避難訓練:6月、11月(夜間想定) 通報訓練:3月(夜間) (他康診断)
2月	節分	節分 焼き芋会	節分(恵方巻 作り)	屋上排水口清掃 非常用放送設備点検 消防用設備点検	熊本県福祉施設研究センター 地域版事例検討会 (オンライン)		入居者 9月(採血・胸管Xp) 全職員 6月(尿管Xp) (腰痛検査) 介護職員8月・2月
3月	ひな祭り 故郷訪問 (古中居) 花見(苑庭)	ひな祭り おはぎ作り 故郷訪問 花見ドライブ	ひな祭り ぼた餅作り	夜間通報訓練(大田管理棟発令)	外国人材受入講習会 (環境ア카데미)	10.従業員の施設サービス研修(書面) 各部署より次年度方針・事業計画(書 夜間通報訓練(連絡係)	職員ボランティア毎月(貝野災害室・ガーデン) グループホーム 運営推進会議(4.6.8.10.12.2月) 避難避難消火訓練(6月・11月)

Dya